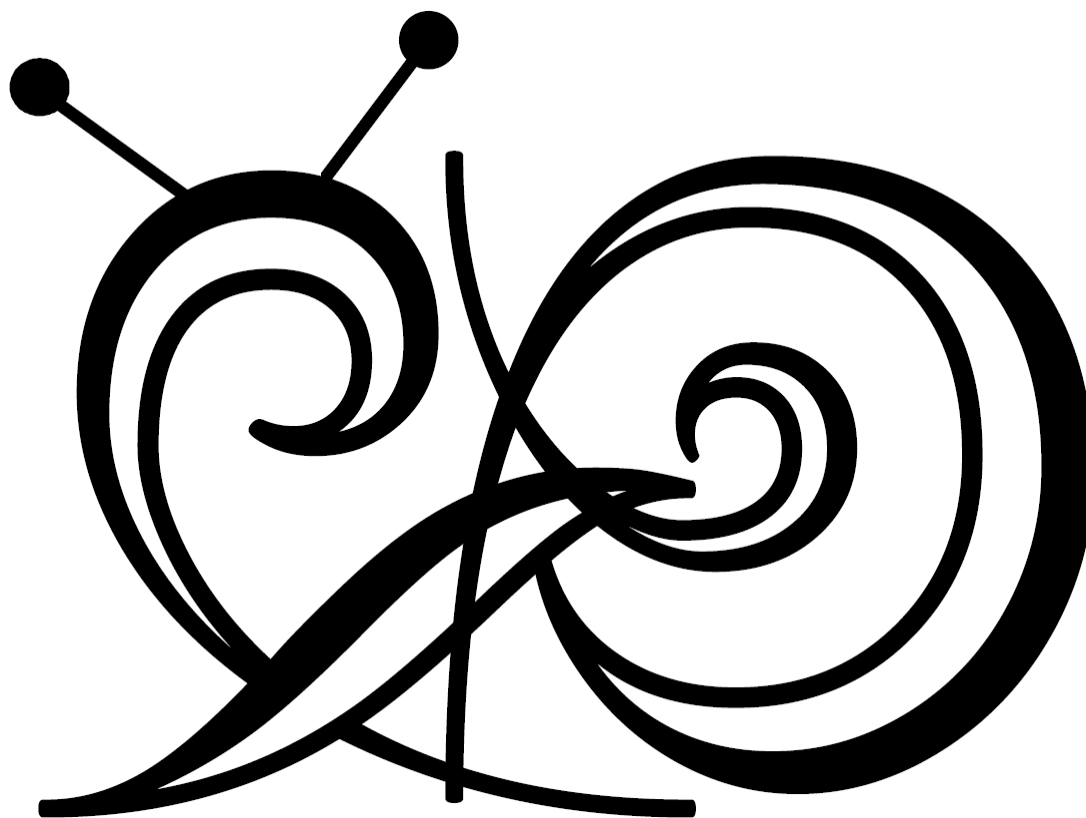


# アンテナ・伝播研究専門委員会(AP研)



Antennas and Propagation の “A” と “P” を, Hoefler フォントの飾り文字 (Ornaments) で表したものです。「Antenna」には, “触覚” という意味もあるので, “A” に2本の触覚をつけてあります。

- AP研の詳しい情報は以下にて:  
AP研ホームページ: <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>  
AP-NET(AP研関連メーリングリスト): 登録はAP研HPまたは [nishimori@m.ieice.org](mailto:nishimori@m.ieice.org) まで。

# AP研委員長から学生・若手の諸君へ

AP研委員長の堀俊和(福井大学)です。

AP研は一昨年発足40周年を迎えた大変長い歴史のある研究会です。

アンテナの研究はマルコーニによる無線実験に端を発する約110年の歴史をもつ古い分野ですが、近年の無線通信の新しい分野への発展に伴い、アンテナ・伝搬に関する技術はますます重要なものとなっています。さらに、新しい活動範囲がどんどん増加しています。それに伴い、最近のAP研の活動は大変アクティビティの高い・幅広いものとなっています。

AP研では、若年層を対象とした奨励・表彰制度、国内第一線現役バリバリの研究者による「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」の企画・開催、など、特にこれから本格的に研究を始めようとしている方々に有用な企画を多数取り揃えています。

また、理論的アプローチが多い研究分野であることから大学、特に学生さんの発表が多いという特徴があります。研究会を通して広がった学生同士の和も多くあるようで、私の知らないところで楽しくやっておられるようです。

学生・若手研究者諸君、AP研にいらっしやい!! お待ちしています。



# 研究会の状況

## ■ 高いアクティビティ

この表は過去二年間の研究会・大会の発表件数をまとめたものです。研究会発表はトップグループで、大会は他研究会を引き離して1位です。この傾向は、比較的在学生さんによる発表件数が多く、研究会よりも大会が志向されていることが反映されています。

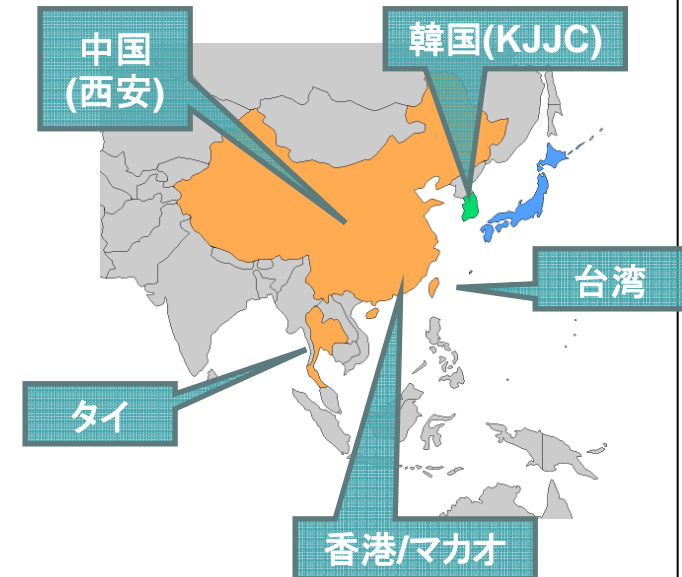
	研究会				総合大会				ソサイエティ大会			
	2006年度		2007年度		2007年		2008年		2006年		2007年	
1位	RCS	290	RCS	248	AP	242	AP	246	AP	244	AP	218
2位	IN	270	IN	247	RCS	215	RCS	211	RCS	147	RCS	158
3位	NS	244	NS	254	IN	204	OCS	210	IN	124	IN	105
4位	AP	184	AP	207	NS	126	IN	178	EMCJ	85	OCS	87
5位	EMCJ	133	SANE	147	OCS	96	NS	102	OCS	72	NS	70
通ソ全体	2161		2336		1364		1473		1081		1069	

## ■ 海外における研究会開催

AP研では積極的に海外開催を行っています。過去の実績は以下の通りです。今後も1~2年に一度程度の頻度で、海外開催を企画する予定です。

- ・1997年5月      タイ
- ・2000年3月      中国(西安)
- ・2007年3月      台湾
- ・2009年3月      香港/マカオ

また、電磁界関連の韓国との合同研究会(KJJC:二種研)やアンテナ伝搬関連の国際会議(ISAP)などの企画・開催に参加しています。



# 若手研究者育成企画

## ■ 「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」

AP研では1994年から第二種研究会としてこのワークショップシリーズを開催しています。これは、アンテナ・伝搬研究者や技術者を主たる対象として、設計・解析力の向上を図ることを目的とするものです。これまでに合計35回のワークショップを企画し、特に若手研究者のレベルアップに役立つと好評を頂いています。また、さらに導入的位置づけとなる「アンテナ基礎講座」も開始し、今後継続的に実施する予定です。

### 最近10回のワークショップ開催概要

開催年月	テーマ	講演者	開催年月	テーマ	講演者
2002/9・10	アダプティブアンテナ中級コース —移動通信への応用を目指して—	小川恭孝	2006/4	小形アンテナの基礎と実際	森下久
2003/5	人体ファントムとアンテナ評価技術	伊藤公一	2006/10	高分解能到来波推定法の基礎と実際	山田寛喜 菊間信良
2004/4	マイクロストリップアンテナ入門コース	羽石操	2007/5	アレーアンテナ設計の基礎	堀俊和
2004/11・12	MIMOシステムの基礎と要素技術	大鐘武雄	2008/5	アンテナ基礎講座(第1回)	宇野亨 新井宏之 広川二郎
2005/5	マイクロストリップアンテナの解析と設計	鈴木康夫	2008/9	無線通信シミュレーションのための電波伝搬基礎	岩井誠人

## ■ 若手研究者への奨励・表彰制度

AP研では2006年度から研究会独自の表彰制度を設置・運用しています。若手研究者を対象としたものとして以下のような賞があります。賞金もありますので是非AP研で発表して賞にチャレンジして下さい。なお、どちらの賞とも、発表が必要であり、研究会へ論文を投稿するだけでは対象となりません。(金額は本当は内緒なので、ここだけの話でお願いします。)

### ● 学生奨励賞

- 対象者: 学部および修士課程学生
- 半期に2名程度
- 賞金: 1万円(金額は受賞者数によって変化します)

### ● 若手奨励賞

- 対象者: 博士後期課程学生・社会人(32歳程度まで)
- 半期に2名程度
- 賞金: 2万円(金額は受賞者数によって変化します)

# 研究会に参加する若手研究者の声

## 森下雅透さんのコメント(新潟大:博士後期課程2回生)

研究会ではアンテナ・伝搬の第一線で活躍する先生、企業の方々がたくさんいらっしゃいます。そのため発表では厳しい意見がありますが、懇親会では今後の研究につながる貴重な意見を頂くことができます。学生も多く参加しているので、学生同士で意見交換することができ大学間での繋がりができることは大変喜ばしいです。AP研は毎月開催されており、開催地も津々浦々です。学生の皆さんはちょっとした旅行も楽しめる開催地の研究会を目標に、研究を進めて参加してみたいはいかがでしょうか。

## 山田渉さんのコメント(通信会社:平成14年入社)

昼は発表に対する鋭いツッコミ、そして夜は懇親会におけるボケ。AP研の特徴といえば「昼も夜も濃い」だと思います。研究会といえば、学生の皆さんの中には「ソサイエティ大会での原稿1枚でさえ苦労したのに原稿6枚なんて・・・」と投稿を恐れる人もいます。しかし、ここは思い切って今回ソサイエティ大会へ投稿した内容を少しだけ検討を深めたなら「AP研に投稿したい！」と宣言してみたいはいかがでしょうか。きっと今後の研究に役に立つ情報が得られると思います(役に立たない情報も得られます)。

# 2008年度開催実績とスケジュール

開催日	開催地
4月17日(木)	大阪電通大
5月15日(木)~16(金)	佐世保高専
6月19日(木)	機械振興会館
7月23日(水)~25日(金)	北海道大学
8月	
9月11日(木)~12日(金)	防衛大学校
10月16日(木)~17日(金)	東北学院大
11月19日(水)~21(金)	金沢工業大
12月11日(木)	機械振興会館
1月22日(木)~23日(金)	福岡大
2月12日(木)	東京農工大
3月9日(月)~10日(火)	香港・マカオ(海外開催)

締め切りは研究会が開催される2月前の10日です。狙った研究会を外さないよう覚えておきましょう。

研究会終了

申込締切済

来年3月はマカオ開催!

詳細は今後AP研HPなどで案内します。

今回は通常の申込み日程の予定(1/10申込締切、研究会開催約3週間前に原稿提出締め切り)